

PASSPORT

To Auto Racer

『オートレーサーって?』
と思ったキミは、
まずココにアクセス!

オートレース 選手募集 検索



オートレーサーを目指すためのパスポート



01

夢を叶えるために。

轟くエンジン音。全ての無駄を削ぎ落としたマシン。極限の状況の中で、先行車を抜き去るテクニク。実力がモノを言う世界。実力があれば、どんな若者だって頂点に立つチャンスがある。そんなオートレースのことを知って欲しい。夢を叶えたい人はチャレンジして欲しい。キミの挑戦をワタシ達は待っています。

02



佐藤摩弥 [31期]
<http://ameblo.jp/satomaya0516/>

■選手になろうとしたきっかけは？
「小さい頃からモトクロスをやっていたこともあって、将来はバイクに乗る仕事に就きたいと思っていました。オートレースを知ったのは中学二年生の時。父に連れられて、初めて川口オートに行きました。」

■選手になって良かったことは？
「自分が頑張った結果が、そのまま賞金につながるということです。もちろんいい結果が出るかどうかは自分次第なんですけれど。だからこそ、頑張り甲斐があって、夢のある仕事だと思います。」

■これからの目標を教えてください。
「今、6人いる女子レーサーでは、1番の先輩になります。私が走っている姿を見て、一人でも多くオートレーサーになりたいと思ってもらえるような選手になりたいです。」

■選手を目指す人にひとこと。
「“オートレーサーになりたい”という強い気持ちがあれば、どんな壁も乗り越えられます。頑張ってください！頑張りてください！」



青山周平 [31期]
<http://ameblo.jp/shuheiaoyama/>

■選手になろうとしたきっかけは？
「ロードレースを小さい頃からやっていて、ずっと続けたい気持ちがあったんですけど、それよりも新しい事にチャレンジしたいという気持ちが勝りました。オートレースの存在は小さい頃から知っていたんですが、ロードレースを引退すると決めた時期と、選手募集の時期が重なったので、思い切ってオートレースに進もうと。」

■選手になって良かったことは？
「自分自身の努力が、結果として自分に返ってくる。合わせてファンの方も喜んでくださるのが魅力です。」

■これからの目標を教えてください。
「レースでは、常に1着を獲るように頑張っています。良いときはもちろん、悪い時も諦めず一生懸命走って、オートレースって面白いなと感じてもらえる選手になりたいですね。」

■選手を目指す人にひとこと。
「定年は無いし、自分の限界が来るまで勝負出来る世界です。実際、70歳を超えた選手だっています。一生を掛けてやる価値のある仕事だと思います。」



全
て
が
実
力
の
世
界
だ

実家が川口オートに近くて、子供の頃からオートレース好きの父が毎週のように、ボクをレース場に連れていってくんです(笑)。いきなりバイクの爆音に魅せられて、その頃からオートレーサーになるのが夢でした。芸能界で仕事を始めてからは、オートレーサーになることは半ば諦めていました。でも、どうしても夢を捨てきれず、年齢制限*ギリギリで試験を受け、合格出来ました。思い返すと、レーサーになれて本当に良かったと思います。ボクは本当にオートが好きだ、と今は



実感出来ますから。養成期間中の怪我で、デビューは同期よりも遅れましたが、新人王決定戦でも優勝出来たし、その後、幾度となく勝利の喜びを味わうことが出来ました。この喜びは、何ものにも代え難いですね。いつの時でもオートレース界のトップに立ちたいと思って取り組んでいますし、そのための苦勞なら何でも受け入れます。オートレースは、実力が評価される世界です。成績が良いのも悪いのも、全ては自分次第。その潔さが魅力ですね。

*森選手が受験した当時は、応募年齢に上限がありました。

森 且行 【25期】

22歳の時に、トップアイドルから転身。



オートレース界随一の人気レーサー森且行選手に、その魅力を語ってもらいました。

レース出場・前々日まで

レースに向けた準備期間。
リラックスしつつ、フィジカルやメンタルのトレーニングで、レースに備えます。



レース出場・前日

指定された時間までに、レース場に入ります。受付の際に携帯電話（通信機器）を預けると、レース最終日まで、外部との連絡は一切出来ません。その後、バイクの整備や練習で、翌日からのレースに備えます。



レースの開催期間中は、レース場内の宿舎で共同生活。食事朝昼晩と食堂で摂ります。
※写真は、川口オートレース場の選手宿舎。

レース出場・初日 レースは3日間～5日間連続して開催 最終日

早朝から走路をジョギングして体調を整えたり、走行練習で、その日のバイクの調子をみたりします。その後、レースの出場時間から逆算し、天気・気温・湿度なども考慮して、バイクの調整を行います。
出場するレースは一日1回ですが、新人のうちは先輩の手伝いなどもあり、一日中、息をつく暇もないほどの忙しさと、緊張が続きます。



オートレースは、エンジンもタイヤも全て選手各自の持ち物。選手自ら管理し、整備します。結果は全て選手自身の責任です。

レース翌日～次回出場まで

緊張で張りつめていたレースから解放され、しばしの休日。プライベートな時間で心身をリフレッシュして、次回の出場レースに備えます。

中1日で、次のレースに出場することもあれば、次回の出場まで、1ヵ月近く空くこともあります。



レースが無い日は、基本的にオフ。レースの開催は不定期で、平日が休みになることが多い生活です。

Q1

選手は何人くらいいるの？ 定年とかは？

A

20歳の長田恭徳選手(山陽オート所属)から、73歳の谷口武彦選手(浜松オート所属)まで、50歳以上の差があり、全員で438人。定年が無いので、基準以上の成績を保っていれば、オートレーサーとして走り続けることが出来ます。

勝負に年令は関係ありません。

長田恭徳選手



Q2

どのくらい稼げるの？

A

選手の平均年収は、約1,250万円。2014年は1億1,077万円を獲得した永井大介選手が賞金王に輝きました。

2014年の賞金王は僕です。

永井大介選手



Q3

免許を
持っていないのですが・・・

A

応募する時までに、運転免許(原付でも可)を取れば大丈夫。過去にも、バイクに一度も乗ったことがなく試験を受けて合格し、その後トップクラスのレーサーになって、1億円稼いでいる選手もいます。

レースでは絶対王者と呼ばれますが、普段の生活ではバイクに乗りませんね。

高橋貢選手



Q4

応募資格は、
何が必要？

A

Q3の通り、①受験時に運転免許が必要です。それ以外に、②満16歳以上であること、③裸眼の視力が0.6以上であること、④色神異常がないこと、⑤体重60kg以下であること、などです。性別、国籍、年令の上限などは関係ありません。
※特例措置として、モータースポーツをはじめ、各種スポーツで優秀な成績を収めている方には、特例枠があります。詳しくは、お問い合わせください。

ロードレースGPの
世界チャンピオンでした。

青木治親選手



Q5

選手になる
訓練って？

A

オートレーサーの試験に合格すると、走行訓練やマシンの整備を覚えるために、選手養成所で約9ヵ月間の合宿生活を過ごします。携帯電話も預け、早朝から夜までハードな生活で、プロとしてデビューするための基礎を学びます。その生活は、テレビでも何度か紹介されていますが、“厳しい”の一言。それでも、夢を掴むために、必ず通らなければいけない関門です。

朝から晩まで厳しい毎日でしたが、夢を実現するために頑張りました。

青山周平選手



Q6

女子選手って
何人いるの？

A

現在6人の女子レーサーが活躍しています。もちろん女性だからといって、養成所でも選手になっても、特別扱いはされず、1人のオートレーサーとして他の男子選手と同じ扱いです。ですから実力を付けければ、男子選手以上に活躍することも可能です。

私が6人のうちの一番先輩です。

佐藤摩弥選手



現役選手に、ちょっと気になることを聞いてみましょう。